



3月議会は家族が新型コロナウイルスの濃厚接触者になったため、議会事務局からの要請で自宅待機となり一般質問をすることができませんでした。今号の一般質問のコーナーは議会事務局に提出した一般質問の通告を掲載させていただきます。

### 議会の一般質問実施要領について

定例議会は年4回開催されます。定例議会ごとに議員に一般質問の機会が与えられています。一般質問をする場合は、議会開催の1カ月位前に議会事務局に対して、一般質問通告書を提出しなければなりません。今回のよしひら通信に記載した「一般質問の通告」がそれに当たります。この通告を元に執行部は質問に対する答弁を用意して本会議の一般質問に臨みます。議員の一般質問の持ち時間、執行部の答弁の持ち時間は各30分です。限られた時間内に効率よく質問し、執行部から議員が意図する答弁を引き出せるかが一般質問の見どころです。

## 問1

### 公共施設等の総合管理計画について

昨年3月議会で質問した「公共施設等総合管理計画」では、使用中止から、設置条例の廃止手続、その後「普通財産検討委員会」で利活用を検討との回答であった。使用中止から、今後どうするのが決まるまでに相当の年月がかかっている。昨年3月議会で質問した時、スピード感を持つことが必要であり、専門部署の設置を要望した。

①市民の税金で建てたもの。当初の目的を終えた場合、次の有効利用について速やかに検討し活用すべきと思うが、今のスピード感で良いのか、市の見解を伺う。

②今回、旧飯石幼稚園の用途廃止案が出た。平成26年(2014)休園、平成28年閉園(2016)、地域に活用方法を打診、今回、飯石地区として活用しないとの回答が有り「普通財産化」施設の処分方法を決定する事となった。休園・閉園から6、8年も経過して普通財産化である。ここからさらに、普通財産検討会、でその後の利活用を検討する。なぜ、これだけの期間が必要であったのか、市の見解を伺う。

③今回の決定が出るまで目的外使用許可を取り、地域へ活用方法を打診するだけでなく、全国に広くWebで利用者等を募集・貸し出すことはできなかったのか、市の見解を伺う。

今議会では、この①～③までの質問を行う予定でした。

## 問2

### 障がい者支援について

発達遅延・障がい者が疑われる子供たちが年々増加している中で、雲南市ではこうした子供達への支援を積極的に展開しており、その活動は保護者にとって大変ありがたい事と思う。そこで、発達障がいや幼小中高校で顕在化したことが苦しい中で保護者や子供たち・学校に向けた支援についてお聞きしたい。

①発達遅延・障がい者は、早期発見による支援が重要と聞くが、市の見解を伺う。

②核家族化が進む中、初めて子育てする保護者や経験豊富な保護者でも、子育ての不安・悩みは多いと思う。その不安や悩みを解消することが、大切と思うが、市の見解を伺う。

③雲南広域福祉会が、障がい児の発達段階に合わせた「療育支援」を実施しているが、ここに通う子供たちは一週間の内1、2日程度。残りの3、4日は幼稚園や保育園に通っている。ただし来たりしなければならず、その送迎は保護者が行っていると思う。保護者の負担は想像以上と思うが、保護者に代わって施設での送迎はできないのか、市の見解を伺う。

④GIGAスクールがスタートした。雲南市では、小中学生の発達障がい者・不登校生に対してITに関する支援は、どのようなことを計画しているか、市の見解を伺う。

今議会では、この①～④までの質問を行う予定でした。

## 問3

### 産業振興について

昨年9月議会で私が提案した、「全業種を対象とした第二弾の、雲南市事業継続特別給付金」は、昨年の11月臨時議会でも可決いただき、今年2月末まで受付対応頂いた。国は、同時期、月次支援金制度、島根県も支援事業を創設し約半年間、中小企業等の事業継続を支援してきた。第6波への対応で国は、事業復活支援金・事業再構築補助金を追加実施し、企業の生き残り支援を行っている。飲食店等への支援はどれも手厚いが、それ以外の業種で売上が低下している企業への支援は手薄と感じている。

①市内企業の業種ごとの経営状況を把握しているのか、市の見解を伺う。

②市も、第6波に対応する市内企業の生き残り支援が必要ではないか、市の見解を伺う。

③工業出荷額は、市内の農業者より製造業の方がはるかに多い。今後、多くの雇用・税収を見据えた、市内企業支援についてどのような計画を考えているか市長に伺う。

今議会では、この①～③までの質問を行う予定でした。

裏面も御覧ください



WEBから  
皆様のご意見、  
お聞かせください!

# https://kajitani.site

梶谷よしひら後援会事務局 〒699-1113 雲南市加茂町東谷 1313  
発行責任者 梶谷佳平 電話・FAX 0854-49-6399



# 3月議会所感



早いもので私が雲南市議会議員をさせていただいてから2回目の美しい桜のシーズンを迎えることが出来ました。

食糧やエネルギー資源を他国に依存している我が国のもろさが、コロナウイルスとロシアのウクライナ侵攻により浮き彫りになり、今後は急激な物価の上昇やコロナの蔓延など社会の混乱が予想されています。

島根原子力発電所2号機の再稼働はこのような社会情勢から苦渋の選択で再稼働を容認する結果となりました。

私は今議会で一般質問をすることが出来ませんでした。今後も皆様のご意見を拝聴しながら議員活動を一生懸命に頑張りますのでよろしくお願いたします。

黒谷 健太

## 今議会中の雲南市の動き

### 1 加茂交流センター完成



地域住民待望の加茂交流センターが、加茂総合センター敷地内に完成しました。総工費は4億7200万円余り、鉄骨平屋建てで延べ面積855、13㎡です。内装には雲南産の木材が使用され、木の温もりのある造りになっています。今後の加茂町まちづくり協議会などの活動拠点としての活用が期待されています。また、令和4年度には大東交流センターが指定避難所に指定されたために、調理施設および倉庫が整備される予定です。今後、雲南市の計画によれば、波多、民谷、幡屋の各交流センターの整備（令和4年～8年度）が順次予定されています。

### 2 島根原子力発電所2号機再稼働容認

令和3年12月議会に島根原子力発電所2号機再稼働に反対及び慎重な対応を求める陳情・請願が提出され、原発特別委員会では、令和4年3月まで慎重審議が行われてきました。委員会では、再稼働について安全性を大前提として現在のエネルギー状況を考えた上で、電力の安定供給・経済性・脱炭素社会の構築などに考慮することで再稼働を容認することが3月30日の臨時議会本会議で多数決（賛成15名・反対4名）により決定されました。再稼働については、市民生活や市内企業の活力を考慮し、苦渋の選択でした。

### 3 「あめつち」の木次線乗り入れが決定

JR西日本との「木次線観光列車運行検討会」が今までに5回にわたり開会されてきました。その中で、JR西日本は、2023年度以降、新たな観光列車（トロッコ列車）の導入はしない。24年度から行楽シーズンを中心に「あめつち」を週1回程度の宍道駅から出雲横田駅までの運行を表明されました。

### 4 令和4年度当初予算可決

今回の予算は、昨年の7月豪雨災害の復旧とコロナ対策のため過去最大の規模となりました。また、歳入不足を補うために10億円の基金の取り崩しが行われます。財政の健全化の観点からすれば注意が必要であると思います。